

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 肝胆膵外科術後の仮性動脈瘤発生予防法に関する検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 外科 職位・氏名 准教授 浅井 浩司

### 【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院外科では、膵切除術後の膵液瘻に起因する仮性動脈瘤発生予防に関してポリグリコール酸(PGA)シートやバイクリルメッシュなどの被覆材使用の有効性を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、膵切除術を受ける患者さんに対する仮性動脈瘤発生の予防につながると考えております。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター(大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2008年4月～2023年5月までに東邦大学医療センター大橋病院において、膵切除術を施行した182例を対象としています。

・被覆材使用前(前期:2008年4月～2014年3月 計62例:膵頭十二指腸切除術48例、尾側膵切除術14例)

・被覆材使用后(後期:2014年4月～2023年5月 計120例:膵頭十二指腸切除術89例、尾側膵切除術31例)

方法: 診療録から抽出したデータを解析します。

### 【研究に用いられる試料・情報】

評価項目因子

年齢、性別、手術術式、手術時間、術中出血量、術後短期(同一入院期間発生)合併症(腹腔内膿瘍、胆管炎、膵液瘻、など)・長期(退院後発生)合併症(吻合部狭窄、遅発性腹腔内膿瘍、など)、在院期間、生存期間、など。術後観察期間は3年とする。

主要評価項目

仮性動脈瘤の有無(被覆材使用前後の比較)

副次評価項目

腹腔内膿瘍発生状況の有無(被覆材が腹腔内膿瘍に関与するか評価)

### 【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 外科

研究代表医師: 浅井 浩司 役職: 准教授

### 【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告す

ることがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

また、本研究の対象者に術後に死亡した患者さん、認知機能が低下した患者さんに関しては代諾者(家族の方)からの参加拒否に関しても受け入れております。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大橋病院 外科

職位・氏名 准教授 浅井 浩司

電話 03-3468-1251 内線 7176